

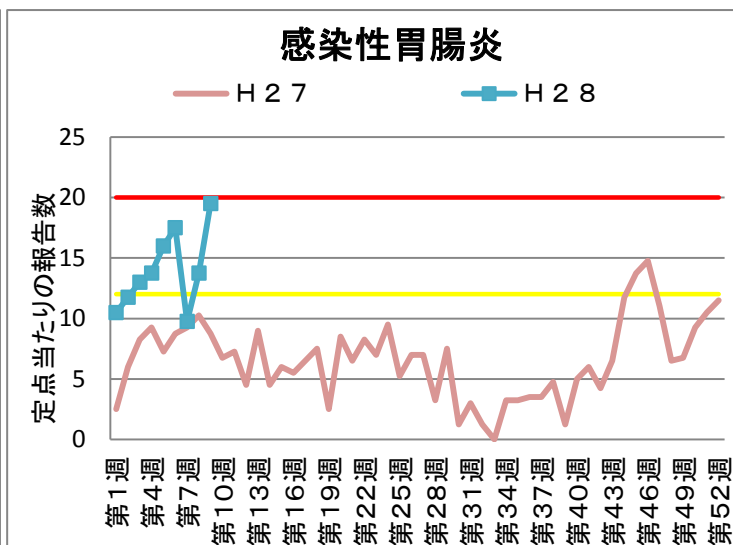
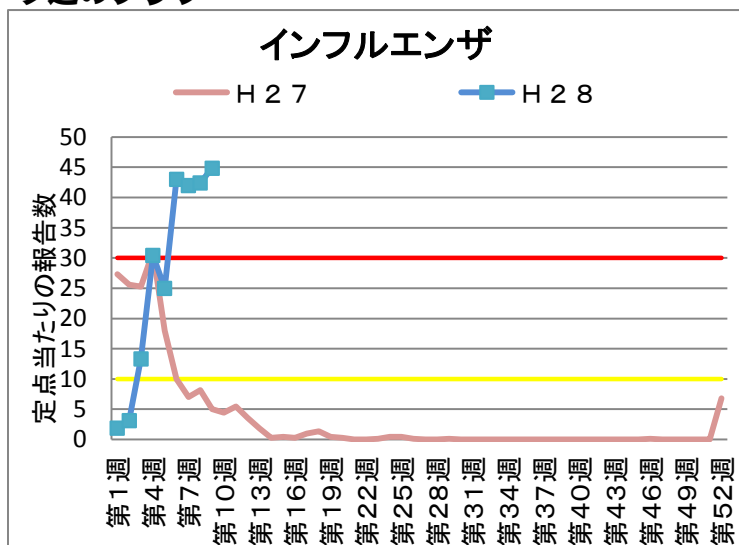
# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 9 週 平成28年2月29日 ~ 平成28年3月6日

## 今週のコメント

- 第9週(2月29日~3月6日)の1定点医療機関当たりのインフルエンザに罹患された方の報告数は警報レベルが続き、再び増加しています(44.86)。保育園・幼稚園サーベイランスでも今週(3月7日~)に入り、再上昇がみられています。
- 全国のインフルエンザウイルスの分離では、A(H1)pdm09が50%、次いでB型(ビクトリア系統)が34%となっています。
- 感染性胃腸炎の報告が増加し警報レベル近くなっています(19.5)。集団感染もみられています。
- 手洗いうがいを心がけ、咳症状がある時はマスクをしましょう。嘔吐物の処理は適切に行いましょう。

## 今週のグラフ



\* 赤線 流行警報基準値です    黄線 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	44.86	手足口病	-
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	0.25
咽頭結膜熱	-	突発性発しん	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.75	百日咳	-
感染性胃腸炎	19.5	ヘルパンギーナ	-
水痘	-	流行性耳下腺炎	0.5

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

## 参考資料等

報告週対応表

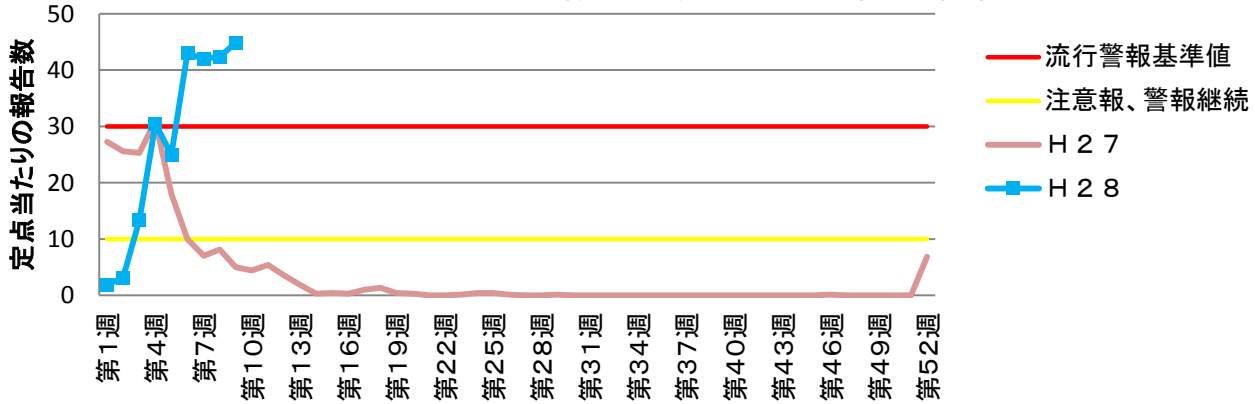
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

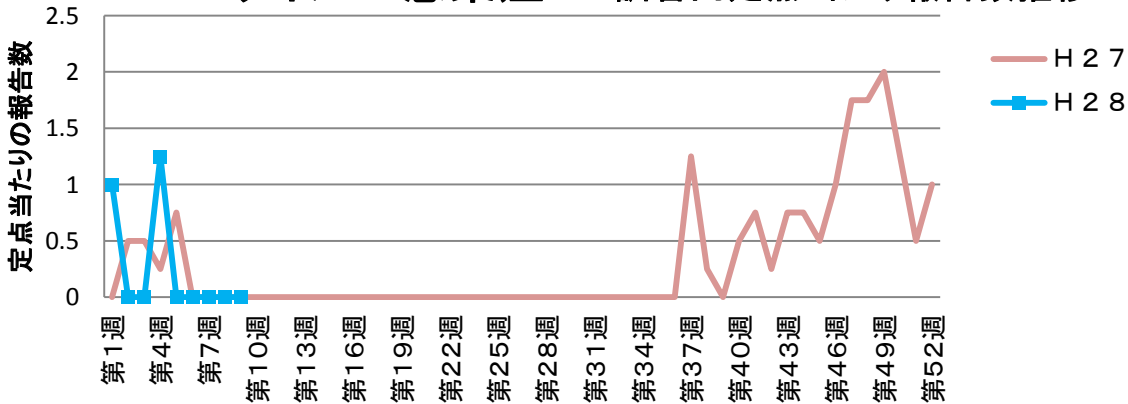
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

## 定点報告による各疾病の推移

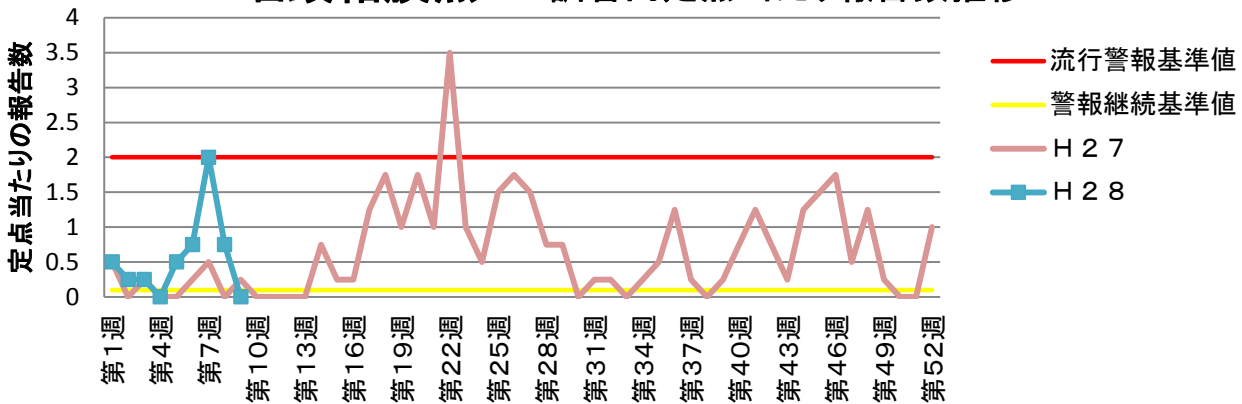
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



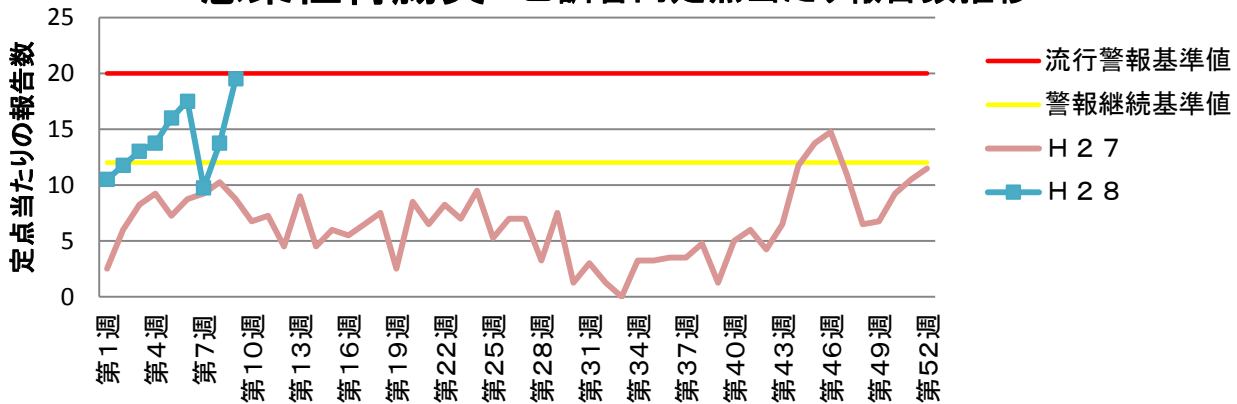
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



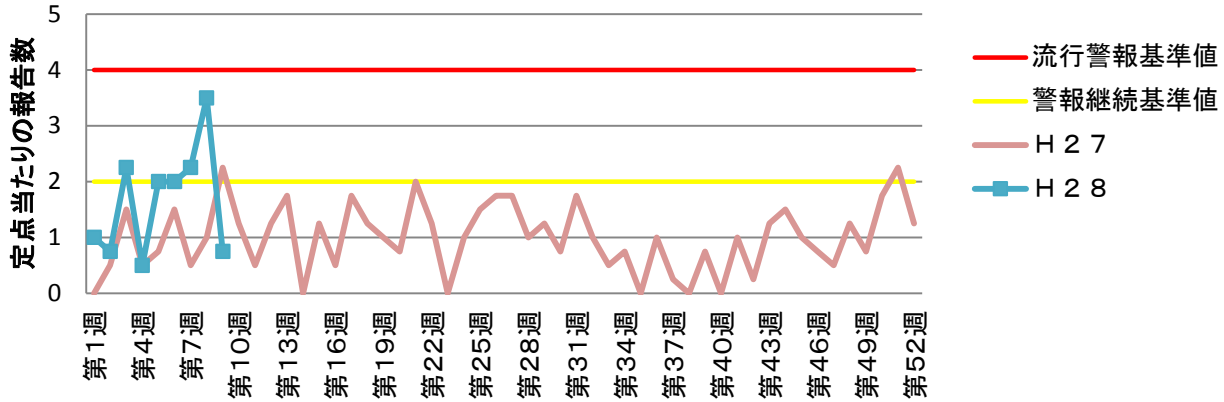
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



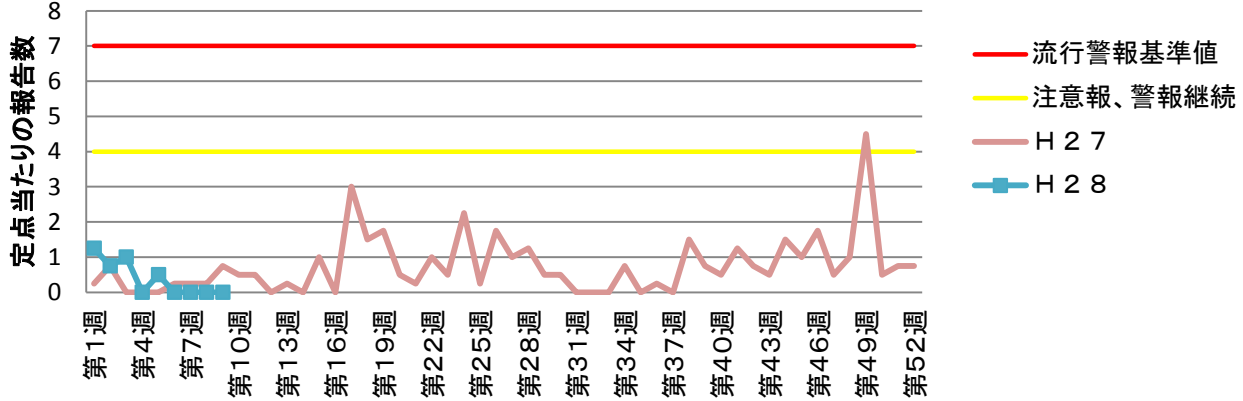
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



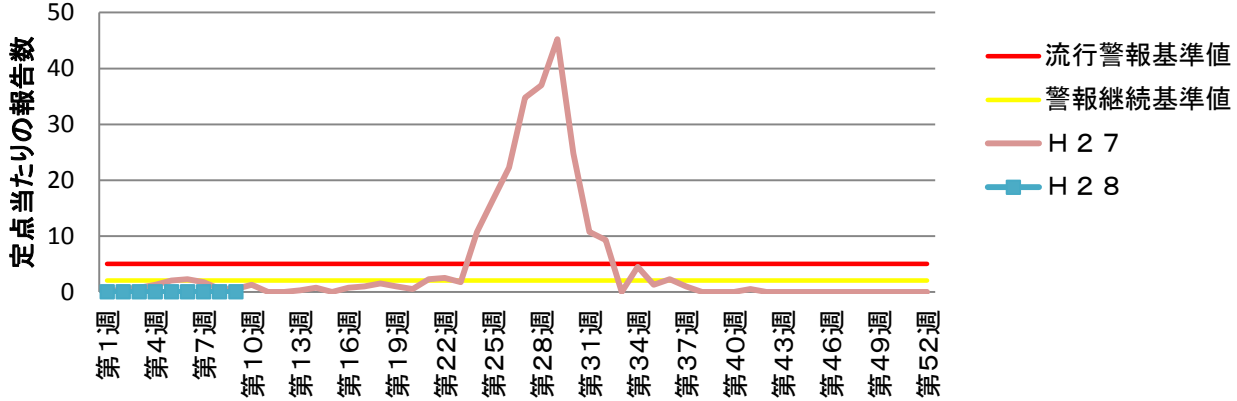
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



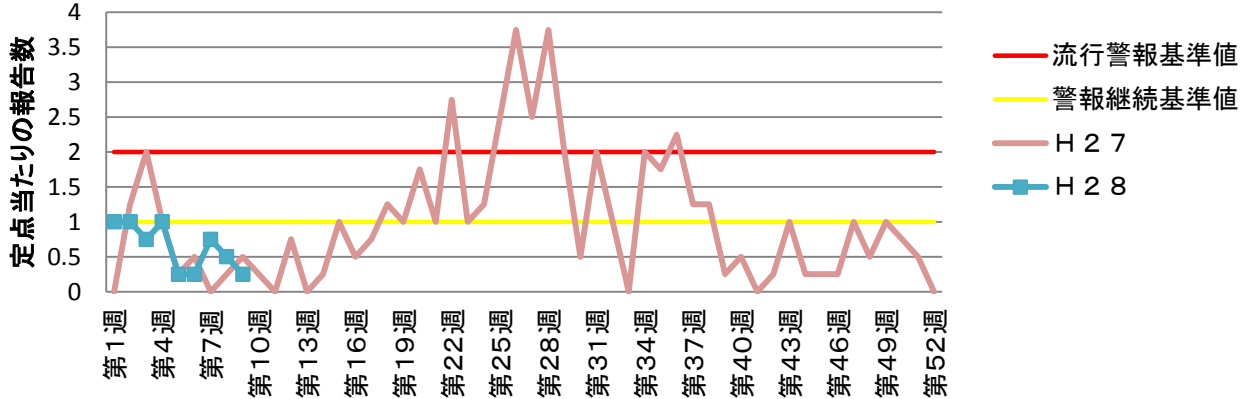
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



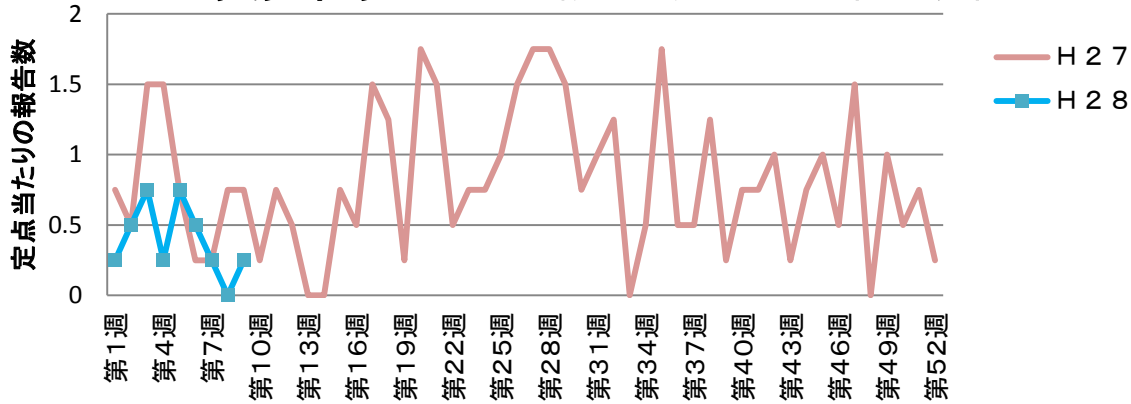
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



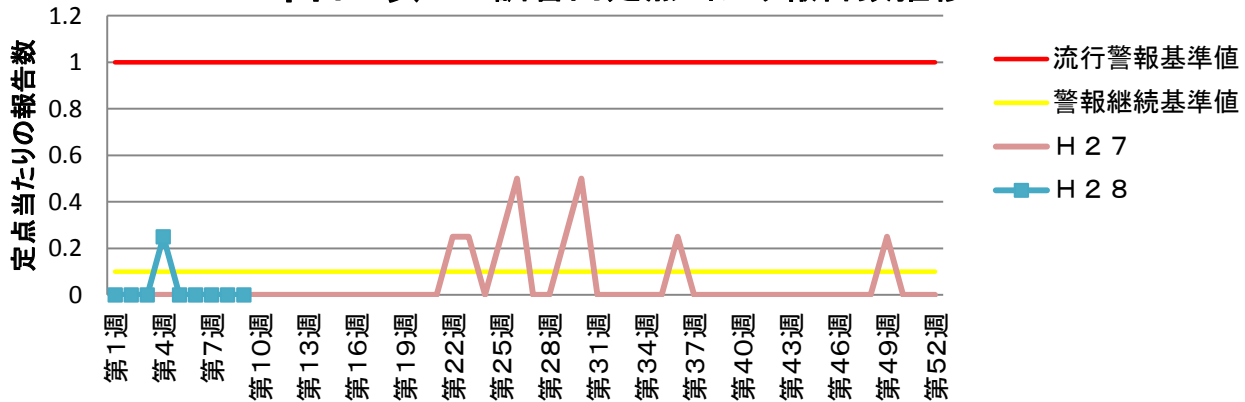
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



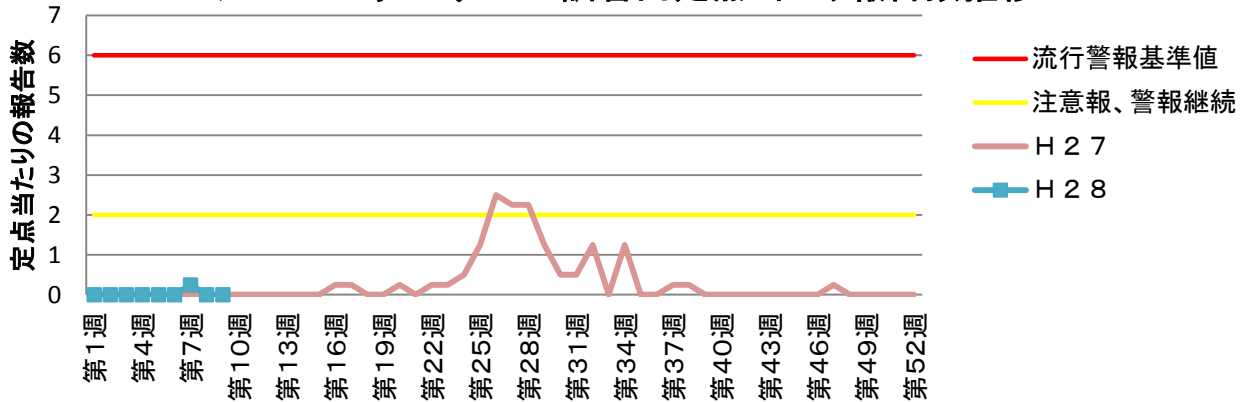
### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

